

〔曲名〕 Brezza Montanina

山吹く風

〔曲種〕 Serenatella

〔作曲者〕 A.Morlacchi

アルマンノ モルラッキ

〔編曲〕

作者は1873年に生まれ1941年ミラノに逝いたマンドリニストでミラノマンドリン合奏団の指揮者。約50年間ミラノの大出版社として知られるリコルディの職員として活躍した関係でヴェルディ、ボイト、プッチーニ、フンケッティ等と交友があった。ミラノの音楽学校ホールでは屢々（しばしば）マンドリン演奏会を開きオリジナル作品の外に有名無名の佳曲の編曲カミ非常に多い。本曲は1906年アレッサンドロ・ヴィツァーリがミラノにイル・プレットロ誌社を創設した時、この誌の創刊号を飾った記念すべき作品で、当時甘美な旋律のみに慣れたイタリア斯界に新風を贈った作者の自負と主幹の意気を感じる作品。セレナテルラはセレナータの縮少詞、コカコーラではないがスカッと爽やかに演奏したい。従ってテムポが緩いのは感心しない。

1971年12月7日発行

イタリアマンドリン百曲選第14集より

